

# 大私教青年部ニュース

2018年9月  
NO. 40 (今年度 10)  
発行: 青年部事務局

## おみやげ教研！！

8月25日、新日本婦人の会会議室をお借りして、今年度のおみやげ教研が行われました。今回は滋賀や熊本からも参加していただいたの盛大な会となりました！まず滋賀の小田先生より、「行動観察」について発表していただきました。保健体育科の教員として、ベテラン教員として子どもに対峙したときどのように行動観察をしていくかのご説明は目から鱗の話題が多くありました。青年部では多くの若手教員がおり、若手だからこそできるエネルギッシュな対峙の方法もいろいろありますが、一方で子どもに相対するときどのようにしたら子どもの心に寄り添えるのか、若手ではできないようなベテランだからこそその視点からの子どもの特徴や、心理から、子どもの行動に現れる段階まで多くのことを教えていただきました。



次に、暁光高校の井坂先生より、高校社会科の授業においての全員参加の取り組みについて発表していただきました。授業において全員参加はなかなか成立しにくいなかで、「コミュニケーションカード」を作成し、子どもの気を引くような話題を提供し、それについて子どもの意見を書かせて授業に参加させることはとても興味深いと思いました。教員のチェックの負担は増えるものの、中等教育における教員による授業評価については子どもの気持ちや、子どもの動向を見る上でなるべく多くあったほうがいいと思います。教員側の負担が増大しても、全ての子どもに平等に、そして子どもの気持ちを大切にしようという姿勢が伝わってきて、また2学期から頑張ろうと思いました！

次に、暁光高校の井坂先生より、高校社会科の授業においての全員参加の取り組みについて発表していただきました。授業において全員参加はなかなか成立しにくいなかで、「コミュニケーションカード」を作成し、子どもの気を引くような話題を提供し、それについて子どもの意見を書かせて授業に参加させることはとても興味深いと思いました。教員のチェックの負担は増えるものの、中等教育における教員による授業評価については子どもの気持ちや、子どもの動向を見る上でなるべく多くあったほうがいいと思います。教員側の負担が増大しても、全ての子どもに平等に、そして子どもの気持ちを大切にしようという姿勢が伝わってきて、また2学期から頑張ろうと思いました！



交流会では次の日が大阪私学助成をすすめる会の「夏の一日学習会」であることもあり、近畿キックオフから着想を得た、私学助成の学習会を行いました。公私間格差のことを実際のものに置き換えて学習したので、より生身のものとして体感できた先生方も多かったのではないのでしょうか。また、おみやげ教研で恒例となっ

た青年部長の全私研の紹介スライド！毎年このスライドを部長が作ってくださるおかげで全私研のことがよくわかり、青年から全私研に参加する先生が増えてきている気がします。感想交流でも、悩みやその日の感想などを話している先生が多くおられたことがとても印象的でした。



おみやげ教研を現在行っている県は徐々に少なくなってきています。しかし、毎年このようにおみやげ教研を行っている大阪の取り組みが他県の方からも来てもらえるようになってきているということはとてもすごいことだと思います。来年の全私研は滋賀県の大津で行われますが、これまで以上に大阪からもたくさんの先生方が来て下さることを期待しています。

## ～参加して下さった人の感想～

田中先生の娘さんの感想？(笑)

今回初めて本教研に参加させていただき、まさか発表者ご本人がレポートして下さるとは思わなかったもので、おどろきました。参加者の方々の意見も活発で、有意義な時間となりました。ありがとうございました。



### 【小田先生のレポートの感想】

春に続き2回目でした。前回も思いましたが、このような発達のメカニズムを誰がどのように知っていけばいいのかということを考えてみました。子どもたちが学校教育の中で知ればいいのか…色々考えることがあるなあと思いました。教師の専門性の中で子供たちの発達と生育環境などをどう見、何ができるのかをしっかりと見つめ知恵を出し合い何をできるのか考え合うことが大事な部分を占めていると思うのでその事をどう捉えていけばいいのか考えていきたいです。

決して規模は小さくなくても、このような小さな教研を密に聞くことはとても大切なことだと思いました。よく“つながり”と言われますが教育実践を通じてのつながりがとても重要だと感じています。

### 【井坂先生のレポートの感想】

コミュニケーションカードという視点がとても好きでした。感想という名前だと生徒は思ったことをかけないし、ありのままの言葉を引き出す仕掛けとしてとても素晴らしい実践だと感じました。授業に参加したいけど斜に構えていて参加できない、そんな生徒を動かす井坂先生はやっぱりすごいです！